

令和5年12月吉日

森林・林業・木材産業関係各位

伐採搬出・再造林ガイドライン全国連絡会議
代表理事 松岡 明彦
福島県素材生産協同組合
理事長 渡部 一也

第7回伐採搬出・再造林ガイドラインサミット福島大会のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。かねてより当会の活動につきまして、格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記により「第7回伐採搬出・再造林ガイドラインサミット福島大会」を開催いたしますので、多数お誘い合わせのうえ、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 1 開催日時 令和6年2月9日（金）13時30分～17時
- 2 開催場所 会津美里町複合文化施設「じげんプラザ」
福島県大沼郡会津美里町字新布才地1番地（役場併設）
電話 0242-54-2368
- 3 予定人数 約100名
- 4 開催趣旨 別紙1参照
- 5 プログラム 別紙2参照
- 6 参加申込 出欠のご返事は準備の都合上、別紙出欠報告書により1月23日（火）まで報告願います。
- 7 参加費 資料代として、1千円お願いいたします。
なお、大会終了後場所を移動して懇親会を開催します。
懇親会参加費は7千円（予定）です。
- 8 その他 シャトルバスの運行を予定しています。詳細は追って利用希望者にご連絡いたします。
（運行コース予定）
① JR 会津若松駅→②大会会場→③懇親会会場→④JR 会津若松駅

連絡先 福島県素材生産協同組合（県木連内）
担当：橋本、前田
電話：024-523-3307 fax:024-521-1308
e-mail: info@fmokuren.jp

(別紙1)

「伐採搬出・再造林ガイドラインサミット福島大会」開催趣旨

戦後造林資源の成熟に伴い、我が国の林業は 2010 年代に入ると主伐再造林をいかに進めるかという大きな課題と向き合うこととなった。そこには、主伐を誰が担うのかから始まり、伐採時の環境配慮、所有者の再造林意欲、造林の担い手、効率的な作業体系、次は何を植えるかまで多くの課題があり、日本の林業は、様々な局面で時代の要請に応えるべく、変容と適応を迫られている。

中でも、主伐を直接担う素材生産事業者は、自主的に循環型林業のあるべき姿を追求し我が国に定着を図っていく必要があるのではないかと考え、「伐採搬出・再造林ガイドライン」の取組が始まった。2000 年代後半から南九州で始まり、全国的な主伐の活発化とともに各地の業界、行政の関心を集め、ガイドラインサミットが 2017 年に第 1 回を宮崎で開催、のち鹿児島、岩手、島根と回を重ね、2022 年 6 月の東京開催と合わせ「伐採搬出・再造林ガイドライン全国連絡会議」を創立した。

以後、徳島大会に続き、今回の福島大会が第 7 回目の開催となるが、2011 年 3 月の東日本大震災からの復興は着実に進展しているものの、森林・林業に目を向けてみると適切な森林整備や利用期を迎えた森林資源の利活用が進んでいるとは言い難く、異常気象による災害や林業の担い手不足、さらには獣害対策等の環境問題が大きな社会問題となるなど、今正に森林の持続的な利用に向けた適切な伐採と確実な再造林の両立が不可欠となっている。この福島大会では、森林資源の循環利用を支える新たな取組をはじめ、担い手の確保や支援の仕組みづくりに止まらず、一步進んで我々林業に携わる者が未来に向けて胸を張って誇れる産業となるにはどのように行動し、取り組むべきなのか意見交換を行いたい。

こうした取組を全国で着実に進めていくためには、関係者の意識醸成を図ることはもとより、全国の事業者との情報交換や全国への情報発信を行うとともに、森林・林業の重要性を広く社会に発信することを目的として、ガイドラインサミット福島大会を開催する。

伐採搬出・再造林ガイドライン全国連絡会議
福島県素材生産協同組合

(別紙2)

第7回伐採搬出・再造林ガイドラインサミット福島大会

令和6年2月9日 会津美里町複合文化施設「じげんプラザ」

□受付 (13:00～13:30)

□プログラム (13:30～17:00)

[敬称略]

(13:30～14:00)

開会挨拶 松岡 明彦 伐採搬出再造林ガイドライン全国連絡会議代表理事
渡部 一也 福島県素材生産協同組合理事長

来賓祝辞 青山 豊久 林野庁長官
内堀 雅雄 福島県知事

(14:00～14:30)

基調講演 本郷 浩二 一般社団法人全国木材組合連合会副会長 元林野庁長官
(仮) 「利用期を迎えた国産材の循環利用」

(14:30～14:50)

活動報告 神園 公博 鹿児島県素材生産事業連絡協議会
(仮) 「鹿児島県におけるガイドライン・認証制度の取組」

(休憩 14:50～15:00)

(15:00～15:45)

特別講演 森本 英香 早稲田大学法学部教授 元環境事務次官
(仮) 「環境問題と森林林業の進むべき方向性」

(15:45～17:00)

パネルディスカッション

(仮) 「主伐再造林の確実な実行と未来に誇れる林業事業体のあるべき姿」

コーディネーター：福島県素材生産協同組合理事長 渡部 一也

パネラー：デロイトトーマツグループパートナー 北爪 雅彦
：一般社団法人サステナブル経営推進機構代表理事 壁谷 武久
：特定非営利活動法人ひむか維森の会理事 黒田 仁志
：一般社団法人モクティ倶楽部代表理事 根本 昌明

□懇親会 (18:00～19:30) 会場 会津美里町「FDS本郷」
会津美里町本郷道上1 電話 0242-93-7330

(別 紙)

報告期限 1月23日(火)

第7回伐採搬出・再造林ガイドラインサミット福島大会

出 欠 報 告 書

福島県素材生産協同組合 あて
(F A X : 024-521-1308)
(メール : info@fmokuren.jp)

団体・会社名

連絡先 TEL ()

携帯 ()

F A X ()

メール @

令和6年2月9日開催の福島大会へ (出席 ・ 欠席) いたします。

出席者職・氏名		大会	懇親会	バス利用の有無	摘 要
役職	氏 名				

※大会、懇親会欄に「○」をご記入ください。

※シャトルバスの利用希望のある場合には「有」をご記入ください。